

防災だより

令和元年7月19日

No. 4

命を守る！防犯教室



明日から「夏休み」に入ります。長期休業中の安全を意識する上でも、今回の「防犯教室」は良い機会になりました。自然災害による身の安全の確保はもとより、「不審者への対応」も重要な身の安全の確保につながります。

今回は佐沼警察署、生活安全課の警察官のみなさんにご指導いただきました。

今回はその様子と内容をご紹介します。

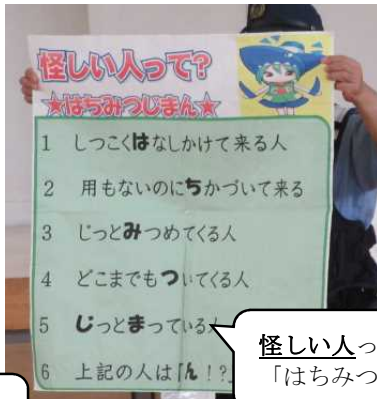
お話ししてくださったのは、

「佐沼警察署」生活安全課の警察官と駐在所所長さん



(クイズ)

登米市の昨年度の不審者件数は？



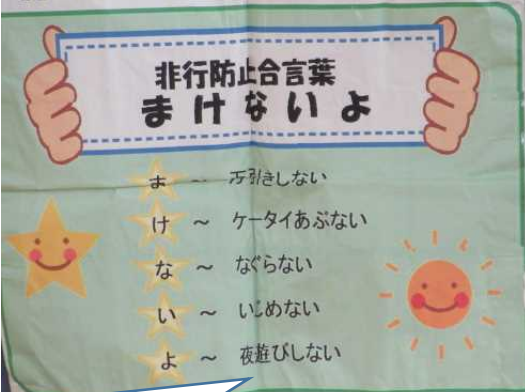
怪しい人ってどんな人？
「はちみつじまん」

一番多く声を掛けられているのが「小学生」だそうです。



身を守る、大事な合い言葉は「い・か・の・お・す・し」

非行防止の合言葉



非行防止の合い言葉もあります。

はじめに昨年度登米市の不審者に関する通報件数は何人でしょうかというクイズが出されました。正解は①の30件。③の3000件は、宮城県の通報件数だそうです。特に声掛け事案で多いのは、小学生対象です。一人で歩いている子、薄暗い場所などは、特に注意が必要とのこと。十分注意したいですね。

「いかのおすし」の合い言葉は、6年生がパネルの提示を手伝いました。そして、車に乗った不審者に声を掛けられた時はどうするか、実際に6年生一人に声を掛ける寸劇もありました。(協力してくれた6年生ありがとう！)

そして、明日から始まる「夏休み」の非行防止合い言葉も教えていただきました。「まけないよ」です。①万引きしない②ケータイあぶない③なぐらない④いじめない⑤夜遊びしない。

何より大切な命をしっかり守り、楽しい「夏休み」に！